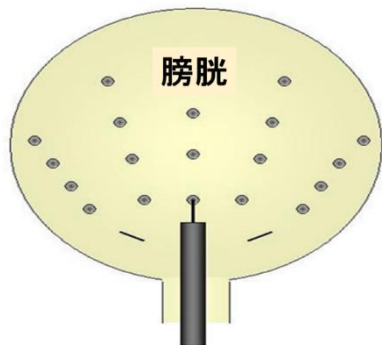


## 過活動性膀胱 (OAB)

過活動膀胱は「急に我慢できないような尿意が起こる」「トイレが近い」「急にトイレに行きたくなり、我慢ができず尿が漏れてしまう」などの症状を示す病気で、男性でも見られることもあります。膀胱排尿筋の知覚過敏や無抑制性収縮が一因と言われ、最近では抗コリン薬や $\beta 3$  刺激薬等が開発され治療成績は大きく向上しています。難治性の過活動性膀胱には**ボツリヌス毒素を内視鏡下に膀胱壁内に注入する治療法**が開発され、2020年4月に保険適応になり、当院でも**日帰り治療**を開始しています。今までの治療で改善がえられなかった難治性の過活動膀胱の方は、泌尿器科担当医に相談してください。



膀胱鏡を用いたボツリヌス毒素膀胱壁内注入